

TOMOWEL の共同印刷 「環境方針」の改定および 「環境ビジョン 2050」の策定について

共同印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:大橋輝臣)は、グローバルな環境・社会認識の動向などを踏まえ、「共同印刷グループ 環境方針」を改定し、「共同印刷グループ 環境ビジョン 2050」を策定しました。

共同印刷グループは、2005 年に環境方針を制定して以来、さまざまな環境負荷低減活動に取り組んでまいりましたが、近年、地球規模で生じている気候変動の深刻化や天然資源の枯渇、生物多様性の喪失など環境問題はますます深刻化しており、従来の取り組みの延長線上では十分に対応しきれない状況となっています。

こうした認識のもと、当グループでは、持続可能な社会の実現に向けた企業としての責任を再確認し、より長期的かつ包括的な視点で環境保全活動を推進するため、2025 年 5 月 15 日に「環境方針」を改定し、「環境ビジョン 2050」を策定しました。

●「共同印刷グループ 環境方針」の改定

当グループでは、地球環境問題への対応を経営の重要課題として位置づけ、「生物多様性の保全」「気候変動」「循環型社会の構築」への対応をバリューチェーン全体で進めることが不可欠であると認識し、これらの課題に取り組む姿勢を基本理念に反映させました。

「共同印刷グループ 環境方針」 <https://www.kyodoprinting.co.jp/sustainability/environment/strategy/#section02>

●「共同印刷グループ 環境ビジョン 2050」の策定

事業成長と環境保全の両立を図るため、当グループは、長期的に取り組むべき環境保全活動の方向性を明確にするとともに、「脱炭素社会への貢献」「循環型社会への貢献」「生物多様性の保全」を主要テーマとして掲げ、持続可能な環境戦略の策定と実行に取り組んでいきます。今後は、施策の具体化を進め、段階的に取り組みの深化を図っていきます。

なお、ビジョンの実現に向けた中期目標については、2025 年度上期中に公表を予定しています。

共同印刷グループ 環境ビジョン2050

共同印刷グループは、地球環境の持続可能性の確保に向け、生物多様性の保全と脱炭素・循環型社会の実現に貢献し、国際社会への責任を積極的に果たしていきます。

1. 脱炭素社会への貢献

- ・ 自社拠点での温室効果ガス排出量の実質ゼロをめざします。
- ・ 製品・サービスの開発と提供を通じて、社会全体の温室効果ガス排出量の削減に取り組みます。

2. 循環型社会への貢献

- ・ 省資源と生産材の再利用及び廃棄物の削減により、資源の効率的・有機的な循環に寄与します。

3. 生物多様性の保全

- ・ 事業活動と自然環境との調和を図り、生物多様性の保全活動を推進します。